

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ツアーデスク・カウンター実務		
必修選択	選択	(学則表記)	ツアーデスク・カウンター実務		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	講師作成プリントや旅行パンフレット			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	旅行業への理解を深める				
到達目標	旅行会社勤務に必要な知識やテクニックを学ぶ				
評価基準	提出物や課題：70％ 授業態度：30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	国内旅行業務取扱管理者				
関連科目	旅行業法Ⅰ・Ⅱ、旅行業約款Ⅰ・Ⅱ、JR運賃計算Ⅰ・Ⅱ、国内地理Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	宿泊施設知識	北海道内各地宿泊施設の特徴をつかむ
3	国内旅行カウンター販売知識	募集型企画旅行商品の販売
4	国内旅行カウンター販売知識	募集型企画旅行商品の販売
5	パンフレットについて	国内パンフレットの見方を学ぶ
6	パンフレットについて	海外パンフレットの見方を学ぶ
7	国内旅行カウンター販売知識	最終のご案内・お得意様づくりについて

8	販売のロールプレイング	カウンタートークを实践
9	販売促進POPについて	POPの基本について学ぶ
10	POP作成	旅行テーマを決め、POPを作成してみよう
11	POP作成	旅行テーマを決め、POPを作成してみよう
12	海外主要都市情報	日本人観光客に人気の観光地を調べる
13	海外主要都市情報	日本人観光客に人気の観光地の魅力をまとめる
14	海外主要都市情報	日本人観光客に人気の観光地の魅力をまとめる/発表
15	まとめ	チェックテスト/まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ツアーコンダクター実務		
必修選択	選択	(学則表記)	ツアーコンダクター実務		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ツアーコンダクター入門		出版社	JTB総合研究所	

科目の基礎情報②

授業のねらい	・ 旅程管理者としての基本を学びながら、国内・海外添乗の実務を学ぶ。		
到達目標	・ ツアーコンダクター・ガイドとして活躍できるレベルへの到達		
評価基準	・ テスト：50％ 提出物・実地訓練：30％ 小テスト：20％		
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者		
関連資格	国内旅行業務取扱管理者・国内旅程管理主任者		
関連科目	旅行業法Ⅰ・Ⅱ、旅行業約款Ⅰ・Ⅱ、JR運賃計算Ⅰ・Ⅱ、国内地理Ⅰ・Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ツアーコンダクターの基本	授業のねらい・到達目標・成績評価について 旅行の種類と旅程管理の関係について理解する。
2	ツアーコンダクターの役割、 留意点	企画旅行が負う業務とツアーコンダクターの役割
3	ツアーの流れとツアーコンダクター の業務	日帰りツアーを例として、ツアーコンダクター業務の流れを理解する
4	ツアーの流れとツアーコンダクター の業務	宿泊ツアーを例として、ツアーコンダクター業務の流れを理解する
5	実務の練習・訓練	添乗業務に必要なトーク練習。自分らしさを踏まえた挨拶の練習
6	国内ツアーコンダクター基礎知識	宿泊・鉄道・航空の実務を理解する。
7	国内ツアーコンダクター基礎知識	貸切バス・観光・食事関係の実務を理解する。

8	実地研修	観光地におけるツアーコンダクター実務の実地研修（外）
9	テスト	国内ツアーコンダクター実務のテスト実施
10	海外ツアーコンダクター基礎知識	国内旅行と海外旅行の違いとツアーコンダクター業務の違いを理解する
11	海外ツアーコンダクター基礎知識	海外の基礎知識、（手配、宿泊、航空、鉄道、貸し切りバス）
12	海外ツアーコンダクター基礎知識	海外の基礎知識、（トランスファーとミーティングスタッフ、観光、食事）
13	海外ツアーコンダクター基礎知識	海外の基礎知識、（出入国手続き、外国語等）
14	海外ツアーの流れとツアーコンダクターの業務	海外ツアーを例として、ツアーコンダクター業務の流れを理解する
15	事故とトラブルへの対応 テスト	未然防止や処理・報告・保険関係について テスト まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	北海道プロモーション制作		
必修選択	選択	(学則表記)	北海道プロモーション制作		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	北海道を訪れるお客様へ楽しんでもらえるプロモーション制作の技術を習得する				
到達目標	北海道を訪れるお客様へ楽しんでもらえるプロモーション制作が出来る				
評価基準	作成物40％ レポート30％ 授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	北海道アクティビティ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、ねらいと到達目標について、北海道観光現状について
2	北海道の食	北海道グルメについて
3	調査①	店舗調査の実施と資料集め
4	調査②	店舗調査の実施と資料集め
5	調査③	店舗調査の実施と資料集め
6	PRパンフレット製作①	北海道グルメの中でテーマおすすめ紹介冊子を作成
7	PRパンフレット製作②	北海道グルメの中でテーマおすすめ紹介冊子を作成

8	PRパンフレット製作③	北海道グルメの中でテーマおすすめ紹介冊子を作成
9	SNS告知	イベント告知・集客方法
10	PR実践①	市内ホテルに冊子を配布
11	PR実践②	市内ホテルに冊子を配布
12	PR実践③	雪まつり会場にて冊子配り
13	PR実践④	雪まつり会場にて冊子配り
14	結果分析	PRによる集客状況を分析する
15	まとめと総括	総復習 今後の北海道観光についてのディスカッションの実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	北海道アクティビティ		
必修選択	選択	(学則表記)	北海道アクティビティ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	北海道のアクティビティを体験し、北海道観光を理解し、業界就職後の業務に活かす				
到達目標	北海道のアクティビティを体験し、北海道観光を理解することが出来る				
評価基準	アクティビティ体験レポート40% 小テスト20% 発表態度20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	北海道プロモーション製作				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、ねらいと到達目標について、北海道観光現状について
2	北海道アクティビティ①	北海道のアクティビティについて
3	北海道アクティビティ②	ラフティング体験
4	北海道アクティビティ③	ラフティング体験
5	北海道アクティビティ④	ラフティングについてレポート作成
6	研究発表	研究発表
7	北海道の温泉①	北海道の温泉地と温泉の効能等について

8	北海道の温泉②	小テスト実施 自分が勧めたい北海道の温泉地のまとめと発表
9	スノーアクティビティ 1	冬季の北海道のアクティビティについて
10	スノーアクティビティ 2	スノーシューを体験
11	スノーアクティビティ 3	スノーシューを体験
12	スノーアクティビティ 4	ワカサギ釣り体験
13	スノーアクティビティ 3	ワカサギ釣り体験
14	スノーアクティビティ 4	冬季の北海道のアクティビティについてレポート作成 お客様へアクティビティをご案内するロールプレイの実施
15	まとめと総括	総復習 今後の北海道観光についてのディスカッションの実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エアライン業界総合ⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	エアライン業界総合ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	エアライン・ビジネス入門 第2版		出版社	晃洋書房	

科目の基礎情報②

授業のねらい	海外の主要な航空会社と空港のレターコードなどエアライン業務の基礎知識と空港業務の他職種についての基礎知識を習得する。		
到達目標	海外の主要空港と航空会社の2レター、3レターを覚えている。エアライン業務の基礎知識と空港業務の他職種の業務内容について理解し説明することができる		
評価基準	テスト：30％　小テスト：20％　提出物：20％　（意欲・態度　30％）		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	空港カウンター演習ⅡA		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	亀倉　麻紀子	実務経験	○
実務内容	大手航空会社にてグランドスタッフとして勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	航空会社の経営計画	航空会社の経営計画とコードシェア、アライアンスについて学ぶ
3	海外のエアライン	海外の主要な航空会社の2レター、3レターについて学ぶ
4	航空会社の商品	航空会社の商品特性
5	海外の空港①	海外の主要な空港の3レターについて学ぶ
6	海外の空港②	海外の主要な空港の3レターについて学ぶ
7	イレギュラーハンドリング	イレギュラーの種類と会社都合、不可抗力について学ぶ

8	運送約款	国内運送約款と国際運送約款について学ぶ
9	クレーム対応	クレームについての理解を深め、対応のポイントを学ぶ
10	航空貨物輸送	航空貨物輸送の特徴と業務の概要について学ぶ
11	客室におけるサービス	客室乗務員の業務内容について学ぶ
12	運航乗務員	運航乗務員（パイロット）の業務内容について学ぶ
13	航空機整備	エアライン整備の概要及び整備の基礎について学ぶ
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エアライン業界総合ⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	エアライン業界総合ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	エアライン・ビジネス入門 第2版		出版社	晃洋書房	

科目の基礎情報②

授業のねらい	航空機の機種やメカニズムについての知識を習得する。また、航空輸送の安全と航空保安について学び、安全の重要性を理解し、安全に対する高い意識を醸成する。		
到達目標	航空機の機種やメカニズムを理解し説明することができる。過去の事例から安全の重要性を理解し、高い意識を持つことができる。		
評価基準	テスト：30％　小テスト：20％　提出物：20％　（意欲・態度　30％）		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	空港カウンター演習ⅡB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	亀倉　麻紀子	実務経験	○
実務内容	大手航空会社にてグランドスタッフとして勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 航空業界の最近の話題	航空業界の最近の話題について学ぶ
2	航空機の基本構造①	航空機の基本構造と仕組みについて学ぶ
3	航空機の基本構造②	航空機の基本構造と仕組みについて学ぶ
4	飛行のメカニズム	飛行の原理について学ぶ
5	航空気象	離着陸に及ぼす気象条件について学ぶ
6	航空会社の安全管理	「安全」及び安全管理について学ぶ
7	航空輸送の安全①	航空輸送の安全について学ぶ

8	航空輸送の安全②	JL123便の事故について学ぶ
9	航空保安①	保安対策基準の脅威レベルについて学ぶ 空港のセキュリティ対策について学ぶ
10	航空保安②	アメリカ同時多発テロ事件について学ぶ
11	航空保安③	全日空ハイジャック事件について学ぶ
12	エアライン業界の今後	エアライン業界の今後について学ぶ
13	各単元振り返り	各単元のまとめ、振り返りを行う。
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エアライン面接対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	エアライン面接対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	CA GSエアライン受験対策 書き込み式テキスト 2025年就職版		出版社	ペンコム出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	航空会社が求める人物像を理解し、エアライン採用試験突破のために必要なスキルを体得する		
到達目標	航空会社が求める人物像を理解し、エアライン採用試験突破のために必要なスキルを身に付ける		
評価基準	意欲・態度：60％ 提出物：40%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	亀倉 麻紀子	実務経験	○
実務内容	大手航空会社にてグランドスタッフとして勤務時人事採用担当業務に従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第8章	オリエンテーション
2	第8章	面接練習①
3	第8章	面接練習②
4	第9章	グループディスカッション
5	第9章	グループディスカッション
6	第9章	グループワーク
7	第9章	グループワーク

8	第8章	面接練習①
9	第8章	面接練習②
10	第8章	面接練習③
11	第9章	グループディスカッション
12	第9章	グループディスカッション
13	第9章	グループディスカッション
14	第9章	グループディスカッション
15	まとめ・振り返り	振り返り、今後のスケジュール立て

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	サービス介助士		
必修選択	選択	(学則表記)	サービス介助士		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	サービス介助士資格取得講座テキスト		出版社	日本ケアフィット共育機構	

科目の基礎情報②

授業のねらい	グランドスタッフとして必要なおもてなしの心と介護技術を学ぶ 日系航空会社で資格取得に取り組んでいる「サービス介助士」の資格取得を目指す		
到達目標	ご高齢の客様や介助の必要お客様に対して自信をもって接客できる 個々のお客様に合った接客サービスを考え提供することが出来る サービス介助士資格の取得		
評価基準	定期試験 4 0 % 授業態度 3 0 % 小テスト 3 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	サービス介助士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	林 美香	実務経験	○
実務内容	大手航空会社にてグランドスタッフとして勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 障がい者差別解消法	サービス介助論について、サービス介助士の必要性 超高齢化社会の現状 障がい者差別解消法について
2	ホスピタリティ・マインド	ホスピタリティの語源とホスピタリティについて ホスピタリティ体験についてディスカッション
3	ノーマライゼーション	ノーマライゼーションについて 障がいの種類について 事前課題の取り組み
4	高齢者の理解と介助	高齢者の身体的特徴やかかりやすい病気・特徴的な病気 事前課題の取り組み
5	ジェントロジー	ジェントロジーとは 将来について考察 事前課題への取り組み
6	接遇	サービス介助士としての接遇 事前課題の取り組み

7	障がい者への理解と介助 (車いす使用者)	車椅子使用者への理解と介助方法 車いすの種類と操作上の注意点 事前課題への取り組み
8	障がい者への理解と介助 (視覚障がい者)	視覚障がい者への理解と誘導方法 点字や指文字 事前課題への取り組み
9	障がい者への理解と介助 (聴覚障がい者)	聴覚障がい者への理解 聴覚障がい者とのコミュニケーション方法 事前課題への取り組み
10	障がい者への理解と介助 (知的障がい者・精神障がい者)	知的障がい・精神障害の定義と概要 知的障がい者・精神障がい者への介助方法 事前課題への取り組み
11	身体障がい者補助犬	身体障がい者補助犬についての理解と身体障がい者補助犬法 身体障がい者補助犬使用者への介助方法 事前課題への取り組み
12	ユニバーサルデザイン	バリアフリーデザインとユニバーサルデザイン 身の回りにあるユニバーサルデザイン 事前課題への取り組み
13	試験	テストを実施
14	事前課題学習	事前課題の返却と復習 定期テストの返却・解答解説 事前課題の復讐を兼ねた小テスト
15	総括	総括 実技講習に向けて

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	パーソナルカラー		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルカラー		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	パーソナルカラーコーディネイト検定公式テキスト パーソナルカラーコーディネイト公式ワークブック		出版社	クリエスクール	

科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識・法則・技法を理論的かつ実践的に身に付ける		
到達目標	パーソナルカラーコーディネート検定に合格する 様々なブライダルシーンの実践において色に対する提案力・コーディネート力を発揮できる人材になる		
評価基準	小テスト40％・提出物30％・授業態度30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する		
担当教員	大越　まさみ	実務経験	○
実務内容	アパレル通信サイトにてカラーコーディネートやスタイリング業務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パーソナルカラーについて	パーソナルカラーの重要性を知る ①
2	色の性質①	・色の持つ性質や特徴を理解する①② ・有彩色と無彩色を理解する② ・色の三属性を理解する③④
3	色のトーン① 色の心理的効果	・トーンごとに持つ色のイメージを学ぶ⑤ ・色の心理的効果を理解する④
		オンデマンド⑥=②～⑤の復習
4	配色①	・配色の基礎を学び、配色構成を理解する⑦ ・色相環・トーンを理解した上で配色を考える⑦
5	配色②	・イメージ配色の重要性を理解する⑧ ・和装の配色方法を学ぶ⑨

6	光の三要素 眼のしくみ	・色がなぜ見えるのかを学ぶ ⑩ ・三要素を理解した上で、眼のしくみについて学ぶ⑩
7	対比・補色対比 混色	・対比・補色対比について学ぶ⑫ ・加法混色と減法混色を学ぶ⑪
8	色のトーン②	トーンの4つのグループの特徴を理解する⑬
9	色のトーン③	・メイク⑭・ネイル⑮を相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ・ヘアカラー⑭を相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ・ドレス⑮・ブーケ⑯を相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする
		パーソナルカラー判定・4パターンファッション⑰ 慣用色名⑱
10	検定対策①	検定対策
11	検定対策②	検定対策
12	検定対策③	検定対策
13	パーソナルカラー判定①	自分がどのグループか判定を行い、似合う色をチェックする
14	パーソナルカラー判定②	各シーズンの特徴を学びファッションのアドバイスを実践する
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エアライン英会話Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	エアライン英会話Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	飛行機・空港の英会話			出版社	NOVAホールディングス株式会社

科目の基礎情報②

授業のねらい	グランドスタッフとして働く上で外国のお客様に対応できる英語力を身に付ける。				
到達目標	グランドスタッフとして接客に必要なビジネス英会話ができるようになる。				
評価基準	実技テスト：40％ 筆記テスト：30％ 授業態度：30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エアライン英会話Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	Darcy Lewis			実務経験	○
実務内容	英会話スクールにて英会話指導に従事				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	飛行機内①	席・機内アナウンスについて
3	飛行機内②	機内アナウンスについて②
4	飛行機内③	飲み物・機内食について
5	飛行機内④	入国・出国書類について
6	飛行機内⑤	具合が悪い人の対応について
7	飛行機内⑥	緊急時の対応について

8	入国時①	乗り継ぎについて
9	入国時②	入国審査について
10	入国時③	荷物受け取りについて
11	入国時④	税関申告について
12	入国時⑤	両替について
13	入国時⑥	タクシー・交通機関について
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	空港カウンター演習ⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	空港カウンター演習ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ANA グランドスタッフ入門 最新版			出版社	イカロス出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	グランドスタッフとして一人一人のお客様に対応できる応用力を身に付ける		
到達目標	応用力を身に付け、様々な状況において対応できるようになる		
評価基準	実技テスト：40％　小テスト：20％　提出物：20％　意欲・態度：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	エアライン業界総合ⅡA		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	林　美香	実務経験	○
実務内容	大手航空会社にてグランドスタッフとして勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	カウンター業務・応用①	UMNRへの対応
3	カウンター業務・応用②	乗り継ぎのあるお客様への対応
4	カウンター業務・応用③	超過手荷物の対応
5	カウンター業務・応用④	ペット受託
6	アナウンス実習①	アナウンス実習

7	アナウンス実習②	アナウンス実習
8	到着業務・応用①	到着時のイレギュラー対応
9	到着業務・応用②	到着時のイレギュラー対応
10	アナウンス実習③	到着時のアナウンス
11	アナウンス実習④	到着時のアナウンス
12	ケーススタディ①	様々な背景を想定したケーススタディを実践する
13	ケーススタディ②	様々な背景を想定したケーススタディを実践する
14	まとめ	総まとめ
15	実技テスト	実技テスト実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	空港カウンター演習ⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	空港カウンター演習ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ANA グランドスタッフ入門 最新版		出版社	イカロス出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	グランドスタッフとして一人一人のお客様に対応できる応用力を身に付ける		
到達目標	応用力を身に付け、様々な状況において対応できるようになる		
評価基準	実技テスト：40％　小テスト：20％　提出物：20％　意欲・態度：20％		
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	エアライン業界総合Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	林　美香	実務経験	○
実務内容	大手航空会社にてグランドスタッフとして勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	特別旅客への対応①	特別旅客について
3	特別旅客への対応②	車椅子をご使用のお客様への対応
4	特別旅客への対応③	目の不自由なお客様への対応
5	特別旅客への対応④	耳の不自由なお客様への対応
6	特別旅客への対応⑤	お子様連れのお客様への対応
7	イレギュラー時の対応①	イレギュラー時の対応を学ぶ

8	イレギュラー時の対応②	イレギュラー時の対応を学ぶ
9	アナウンス実習③	イレギュラー時のアナウンス
10	アナウンス実習④	イレギュラー時のアナウンス
11	アナウンス実習⑤	イレギュラー時のアナウンス
12	ケーススタディ③	様々な背景を想定したケーススタディを実践する
13	ケーススタディ④	様々な背景を想定したケーススタディを実践する
14	実技テスト	実技テスト実施
15	演習総まとめ	テストの振り返りと後期の総まとめを行う
14	実技テスト	実技テスト実施
15	演習総まとめ	テストの振り返りと後期の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	2	60
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	ホテル航空観光スタッフ必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75点（評価表にて採点）、学校評価25点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考					
担当教員	岩淵 穂佳			実務経験	
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ホテルエアトラベル科	2	60
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	ホテル航空観光スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75点（評価表にて採点）、学校評価25点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考					
担当教員	岩淵 穂佳			実務経験	
実務内容					